

客員研究員受入れ変更調書

部局名 工学研究科

変更内容が判るよう記載してください(研究期間変更の場合:年月日～年月日のところ、年月日～年月日とする等)。

客員研究員 所属機関 フリガナ 職氏名(姓大文字) 性別	イギリス ポリテクニカル大学 ピーター ジェイ マニユエル 教授 Peter Jay MANUEL 男 リュウ ペイ フ ● 漢字圏からの研究員の場合: 劉 平夫 (LIU Ping Fu)
生年月日 出身国・地域	19〇〇年〇月〇日生 イギリス
研究課題	金属表面仕上げのためのトライボロジーの基礎研究
受入れ教員 専攻/附属機関 職氏名	〇〇〇〇専攻 教授 工野理助
大学以降の学歴 及び職歴	1975年3月～1979年2月 イギリス ポリテクニカル大学(物理学部) 在籍 1979年3月～1981年2月 〃 ポリテクニカル大学大学院(物理専攻) 修士課程 在籍 1981年3月～1985年2月 〃 ポリテクニカル大学大学院(固体物理専攻) 博士課程 在籍(博士号取得) 1985年3月～1989年3月 イギリス アルカン・インゲラント株式会社 研究員 1989年3月～現在 〃 ポリテクニカル大学 研究員
来学中の研究計画	金属の圧延や引き抜きにおける表面の仕上げの精度を現状よりも超かに向上させるために、現状のトライボシステム全体の問題点分析を行う。
研究期間	令和〇(20xx)年〇月〇日～令和〇(20xx)年〇月〇日のところ、 令和〇(20xx)年〇月〇日～令和〇(20xx)年〇月〇日とする。
費用の出途	渡航費: イギリス政府科学技術省 滞在費: イギリス政府科学技術省
安全保障輸出管理	<input type="checkbox"/> 承認済み(承認日: 月 日) <input type="checkbox"/> 輸出管理シート作成不要

受入れ変更理由書

工学研究科〇〇専攻工野理助教授は、イギリス・ポリテクニカル大学の Peter Jay MANUEL教授と〇年〇月〇日から現在まで、金属の表面仕上げのためのトライボロジーの諸問題について共同研究を行ってきたが、研究期間を〇ヶ月延長することにより、〇〇の研究成果を更に挙げる事が期待できるので、同人を客員研究員として引き続き受け入れたい。

なお、同人の研究業績は次のとおりである。

1. The Influence of Ion Implantation on the Elcitonic Reflectance of ZnO
Solid State Communications, 41(1982), 553-560.
P. J. Manuel and R. Helbig
2. Separation and Characterization of Block and Graft Copolymers by thin-layer Chromatography
The Journal of Physical Chemistry, 106(1987), 123-135.
P. J. MAMUEL, W. A. BURK and R. KOHNO
3. SUSPENSION POLYMERIZATION OF STYRENE UNDER ULTRASONIC IRRADIATION
AIChE Journal, 35(1988), 154-162.
C. Keesom and P. J. Manuel
4. Phenyltin Trichloroacetate Complexes: Preparations and Structures
Journal If Chemical Society, Dalton Transactions, (1994), 1589-1598.
Peter Jay Manuel
5. グリースの付着性
潤滑, 28(1995), 146-155.
P. J. マニユエル, 工野理助

外4編